第40回 航空政策セミナー

コロナ禍の航空産業から 航空労働者の提言

> 事務局次長 兼 国際活動委員会事務局 和波宏明

新型コロナウィルスの恐ろしいところ

無症候でも感染力がある

- ▶マスク着用
- ▶大量かつ継続的な検査
- ▶追跡と保護・隔離

が必要!

コロナ禍で浮き彫りになってきたもの

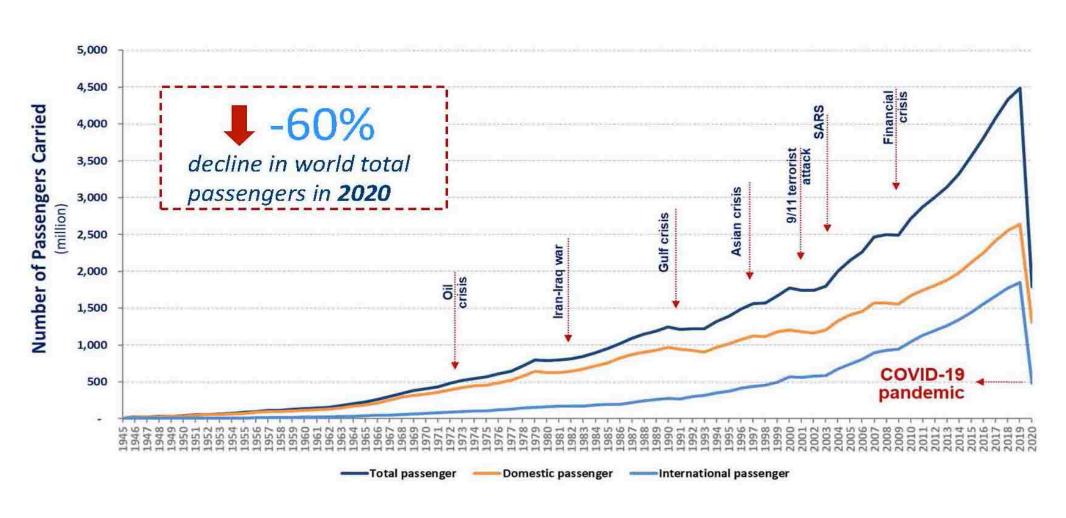
- >「新自由主義」の弊害
- >「グローバリゼーション」の弊害
- ▶地球温暖化の影響
- ▶政治、政治家の役割
- ▶医療技術の急速な進歩

航空産業へ致命的な影響

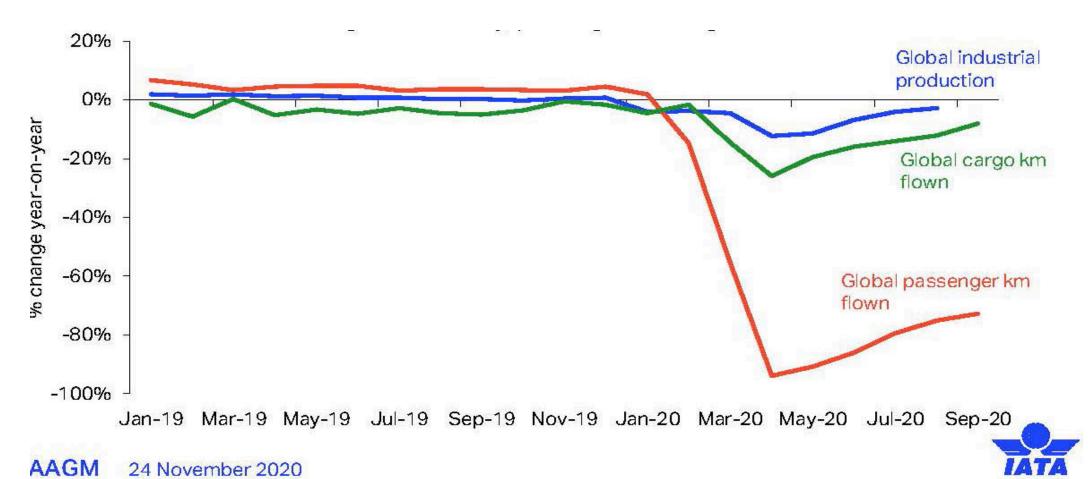
- ▶旅客運送事業に壊滅的打撃
- ▶貨物室削減によって輸送量が増大する貨物運送事業

ICAO 21年1月報告から 世界の旅客輸送の推移1945- 2020

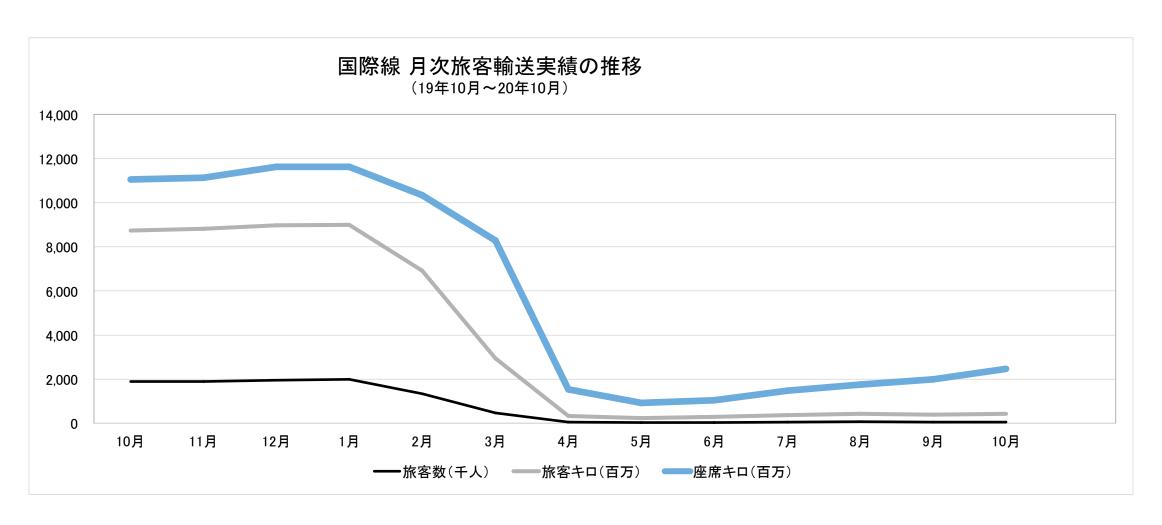
2020年に世界の旅客数が60%減少



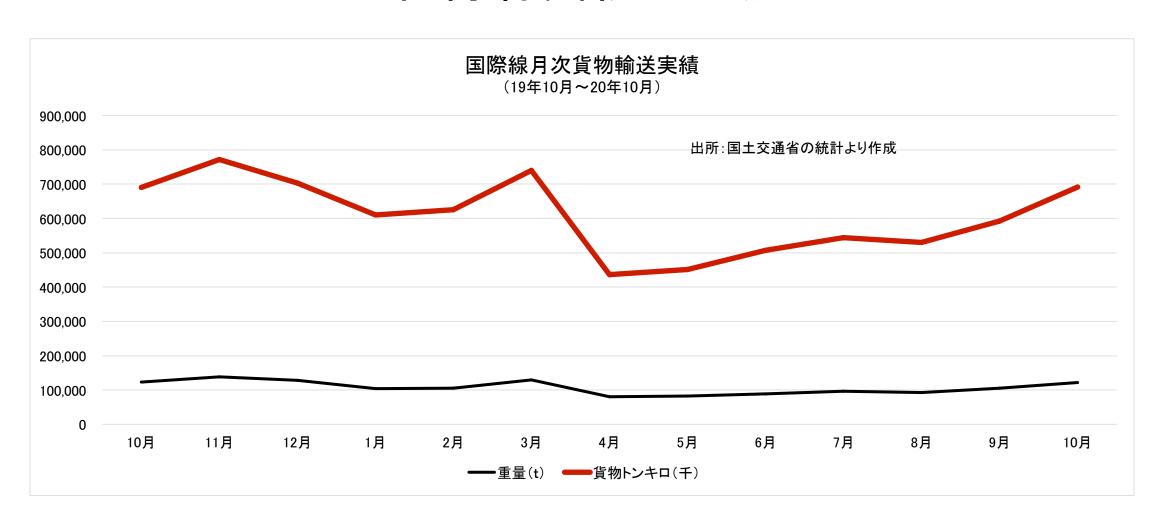
世界経済は成長 航空旅客(赤)の回復は失速 航空貨物(緑)は増加



2020年日本の航空輸送・19年10月対比 国際線旅客 96.6%減



2020年日本の航空輸送・19年10月対比 国際線貨物 1.3%減



国際機関の声明及び提言

政労使を代表する国際機関から 声明及び提言が相次いで出される

ITF/IATA共同声明

- >医療従事者への優先的保護
- ▶政府/航空業界間との緊密な調整
- ▶労働者保護のための航空会社への経済支援
- ▶渡航制限を解除するための方法の確立

ITF/IFALPA共同声明&世界空港評議会

航空及び空港労働者へのワクチンの優先的接種

ICAO

- ▶フィジカル ディスタンシング
- ▶フェイスガード&マスクの使用
- ▶全てのエリアの清掃及び消毒
- ▶健康スクリーニング(検査)
- ▶旅客及び従業員の接触情報の収集
- ▶空港、航空機、クルー、貨物それぞれの感染対策の徹底
- ▶労働者の「心の健康」を政府/専門家/企業が支える仕組み



労働者の心の健康を支える仕組み

中央 **MH&W(精神的健康及び福祉)** 管制官・パイロット・キャビンクルー・メンテナンス要員

中央上 ピアサポート(仲間による互助)

中央下 国の規制当局

左上 MHP EAP/EWP (精神的健康の専門家 /従業員支援プログラム)

左下 AME (航空監査医航空心理学者 /精神科医)

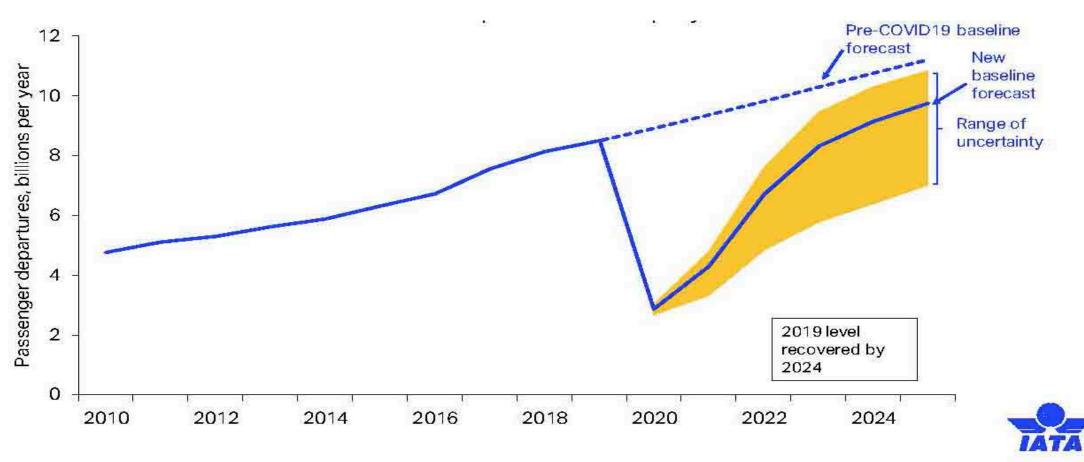
右上 専門職協会

右下 使用者 オペレーター

ILO

- ▶政労使で労働安全衛生を守るシステム
- ▶データ収集及び職業上の傷病
- ▶雇用傷害保険のスキーム

IATA・国際航空運送協会 2019年旅客数の回復は2024年を予測





各国政府の航空産業維持を図る施策① 【施策の柱と財政措置】

【施策の柱】

- ①航空会社への賃金補填や租税の減免
- ②航空会社と関連への融資
- ③航空会社への資本参加・国有化

【施策の財政規模】ITFの調査 23カ国総額1,250億米ドル(12兆750億円・1 \$ 103円)

国別の財政規模上位5カ国

- ①米国 610億米ドル(6.2兆円)
- ②シンガポール 147億米ドル(1.5兆円)
- ③ドイツ 113億米ドル(1.1兆円)
- ④フランス 83億米ドル(8,579億円)
- ⑤フインランド 83億米ドル(8,579億円)

各国政府の航空産業維持を図る施策② 20年10月23日時点の 各国の航空インフラ維持の財政規模

米国	総額 賃金補填 会社への融資	6兆2,830億円 約2兆7,000億円 約2兆7,000億円
ドイツ	総額 ルフトハンザへの 融資・債務保証 出資	1兆1,639億円
シンガポール	総額 株式/転換社債の購入	1兆5,141億円
日本	国管理空港 国内線着陸料の減免	55億円

日本政府の「支援パッケージ・改定」 20年12月21日 【世論に押され・拡充】

空港使用料・航燃料税の減免	1200億円
繰越欠損金の控除上限の特例	約5000億円
(航空会社からの申請された雇 用調整金の総額・10月時点)	490億円

航空労働者からの提言

- ▶航空は必要不可欠な産業である
- ➤航空労働者の雇用・生活及びスキルを守れ (「体」「懐」「腕」「心」を守る環境を作ること)
- ▶自国でまかなえる体制を構築せよ
- ▶各国政府は協調してその役割を果たすべき

今こそ、 私たちの声を政治に反映させる取り組みを!

ご清聴ありがとうございました。

本日のプレゼンに使用した資料の詳細は、政策パンフに添付しますのでご利用下さい。